真田山周辺で観察された生き物の記録　コース No.14b

報告者:桝元慶子

日　時：2021 年 7 月 25 日　9:30～12:30　天候：晴
主催：大阪市環境局　　協力：大阪市エコボランティア
調査者：北川　ちえこ、木山　正隆、忍　　喜博、高橋　満子、中谷　憲一、原　　和子、古川　末広、林　　耕太、
桝元　慶子（9 名）
事務局：石川由紀子、金谷薫
コース：JR「玉造」駅～宰相山西公園～旧真田山陸軍墓地～宰相山公園（三光神社）～真田山公園

このコースは難波宮も含む大阪市の中心部ですが、真田山周辺の４か所を定点とし、毎年セミの抜け殻調査を行っています。15 分間徹底的に抜け殻を集め、後日計数してクマゼミ率を求め、各所の比較を行っています。計数の結果は後日報告しますので、ここでは観察された生き物について報告します。

宰相山西公園の高木植栽は、2018 年台風 21 号による強風の被害以降、伐採予定のテープを張られたり、太い枝が落とされたりしていましたが、今年は大きな樹木が根元で伐採され、今年地上に出たセミたちは、地上の環境変化に驚いたに違いない、数年後にはここで生まれるセミは激減するのではと感じました。旧真田山陸軍墓地のエノキも強風の被害を受けていましたが、次第に枯れた部分が広がっているように感じられました。真田山公園にて 2019 年に発見した特定外来生物クビアカツヤカミキリは、今年は見つかりませんでした。

また、このコースの調査中、WBGT（暑熱指標）計を携帯し、場所ごとの熱中症の警戒レベルを記録しました。さらに放射温度計を用いて、路上や植え込みなどでの事物の表面温度を測定しました。これら暑熱環境の記録もあわせて報告します。

種名　とともに、状態を表す記号を付記した。
1: 葉,卵,配偶体(蘚苔類等) 2: 花,幼虫,幼鳥,胞子体未成熟(蘚苔類) 3: 果実,蛹,胞子体成熟(蘚苔類) 4: 実生,成虫,成鳥,枯死,休眠(蘚苔類)
0: 胞子,無性芽(蘚苔類),その他
※植栽樹木は位置の目安として，または花や果実がついている場合のみ記録した。
※実生は 150cm までを 4 と表示しそれ以降は通常の状況番号とする。
動物は種名の前に・印を，植栽,逸出と思われる植物は種名の後に●印を，特定外来生物は★印をつけて記載した。
※2 分の 1 地域メッシュコード(総務省)で分割し,そのコード番号の下に記載した No.は旧「みどりと生き物会議」で使用した大阪市域 500m メッシュナンバーである。

JR 玉造駅から宰相山西公園
メッシュ No.523504022(465)

アレチノギク 2
オッタチカタバミ 1
オヒシバ 3
オリーブ●1
コメヒシバ 3
ノゲシ 1
ノシラン●2
メヒシバ 2

JR 玉造駅から調査しながら歩く
210725 撮影 桝元慶子

宰相山西公園

メッシュ No.523504022(465)

・アオドウガネ 4
・キマダラカメムシ 2
・モンシロチョウ 4
イチョウ●1
イヌビワ 3
イヌムギ 2
ウラジロチチコグサ 3
エノキグサ 2
オシロイバナ 2
オッタチカタバミ 1
オニタビラコ 2
オヒシバ 2
カキノキ●1
キカラスウリ 1
シチヘンゲ 2
シマスズメノヒエ 2
シロツメクサ 2
センダン 4
ソメイヨシノ●1
チヂミザサ 2
ツユクサ 2
トウカエデ●3
ネズミモチ●3
ヒナタイノコズチ 1
ヒメジョオン 1
ヘクソカズラ 2
マスクサ 3
マメグンバイナズナ 2,3
ヤブラン●2
ヨモギ 1
外来タンポポの一種 2

高木が根元から伐採され緑陰が失われていた
210725 撮影 桝元慶子

2016 年の宰相山西公園 緑陰が涼しかった
160731 撮影 桝元慶子

宰相山西公園での調査風景
210725 撮影 北川ちえこ

樹木がなくなって、草で羽化したのか
210725 撮影 桝元慶子

宰相山西公園の隅に実生らしいソテツ
210725 撮影 桝元慶子

上町台地の古い樹木が残っている緑陰によく見られるイヌビワ 実（花嚢）がついていた
210725 撮影 桝元慶子

イヌビワは、イヌビワコバチのメスだけが飛翔し別の花嚢に入り込んで花粉を運ぶ。
右写真は入るときに翅を落としたのではないか、中にコバチの成虫がいるかもと期待した実。しかし割ってみても見つからなかった。

持ち帰った実に翅らしいものが・・・
210725 撮影 桝元慶子

旧真田山陸軍墓地

メッシュ No.523504022(465)

・アオスジアゲハ 4
・ゴマダラチョウ 4
・スズメ 4
・セグロアシナガバチ 4
・モンシロチョウ 4
アオイゴケ 1
アキニレ 1
アレチヌスビトハギ 1
アレチノギク 2
ウメ●1
ウラジロチチコグサ 1
エノキ 3
エノコログサ 3
オッタチカタバミ 2
オヒシバ 1
キンモクセイ●1
クサイ 3
クロマツ●3
コナスビ 1
サザンカ●1
シナサワグルミ●3
シマスズメノヒエ 2
シロツメクサ 2
タンポポ sp.1
チチコグサ 2
ツユクサ 1
トウネズミモチ 3
トキワサンザシ●3
ナンテン 3
ヌカボ 2
ヒイラギモクセイ●1
ヒイロタケ 2
ヒメジョオン 1
ヘクソカズラ 1
マメグンバイナズナ 3
ヤブガラシ 1
ヨモギ 1

シンボルともいえる大木エノキ
210725 撮影 桝元慶子

ヒマラヤスギは樹形が変わってしまった
210725 撮影 桝元慶子

エノキの樹皮が枯死したのか
カワラタケは乾燥していた
210725 撮影 桝元慶子

ゴマダラチョウがアキニレの樹液を吸いにきていた
210725 撮影 桝元慶子

墓地内には立ち入らなかった
210725 撮影 桝元慶子

宰相山公園（三光神社）

メッシュ No.523504022(465)

・アオスジアゲハ 4
・クマゼミ 0 声
・スズメ 4
・ニイニイゼミ 0 声
・ヒロヘリアオイラガ 0 羽化後繭
アキニレ 1
アキノノゲシ 1
アキメヒシバ 2
アラカシ●1
アレチノギク 2
イチョウ●1
イヌタデ 1
イヌビワ 2
イヌホオズキ 1
エノキ 4
エノキグサ 1
オオアレチノギク 1
オオバコ 1
オッタチカタバミ 1
オニタビラコ 2
コメヒシバ 3
シロツメクサ 2
センダン 4
ソメイヨシノ●1
チヂミザサ 2
ツユクサ 1
トウカエデ●3
トウネズミモチ●3
ナンテン●3
ハギ sp.●2
ヒナタイノコズチ 1
ヒメジョオン 1
ヒメツルソバ 1
ヘクソカズラ 1
マサキ●3
マメグンバイナズナ 3
メヒシバ 2

宰相山公園（三光神社）上での調査風景
ここにもイヌビワの実生があった
210725 撮影 桝元慶子

宰相山公園は坂の上と下に分かれている
210725 撮影 桝元慶子

宰相山公園下のアキニレに
クマゼミの抜け殻多数
210725 撮影 桝元慶子

真田山公園

メッシュ No.523504022(465)

・アオスジアゲハ 4
・セグロアシナガバチ 4
・ドバト 4
ウラジロチチコグサ 1
エノキ 1
エノキグサ 2
エノコログサ 3
オオアレチノギク 2
オオバコ 1
オッタチカタバミ 1
オヒシバ 3
オリーブ●1
カタバミ 1
キンシバイ●2
クルマバザクロソウ 2
コニシキソウ 2,3
サルスベリ●2
シチヘンゲ 2
シマスズメノヒエ 2
シモツケ●2
セイタカアワダチソウ 1
チチコグサモドキ 2
ノゲシ 1
ハナツクバネウツギ●2
ハマスゲ 2
ヒメジョオン 2
ヘクソカズラ 1
マメグンバイナズナ 3
ムクゲ●2
メヒシバ 3
モモ●3
ヤエヤマブキ●2
ヤマモモ●3

メッシュ No.513574924(494)

・キハダカニグモ 4
・クマゼミ 4
・スズメ 4
アキノノゲシ 1
アレチノギク 2
エノコログサ 3
オオアレチノギク 2
クサイ 3
ケヤキ●1
シマスズメノヒエ 2
シロツメクサ 2
外来タンポポの一種 2
ナギナタガヤ 3
ヒマラヤスギ●1
ヒメジョオン 2
ヒメムカシヨモギ 1
ヘクソカズラ 1
メヒシバ 3

メッシュ No.513574923(493)

・クマゼミ 4
アキニレ 4
アレチノギク 2
イチョウ●1
イヌビエ 2
イヌムギ 2
エノコログサ 3
カタバミ 1
クサイ 3
ケヤキ●1
サルスベリ●1
シャリンバイ●3
トベラ●3
ニワホコリ 3
ノゲシ 2
ヒイラギモクセイ●1
ヒナタイノコズチ 1
ヒメジョオン 2
ヒラドツツジ●1
ヘクソカズラ 1
マメグンバイナズナ 3
メヒシバ 2
ヨモギ 1

真田山公園　210725　撮影　桝元慶子

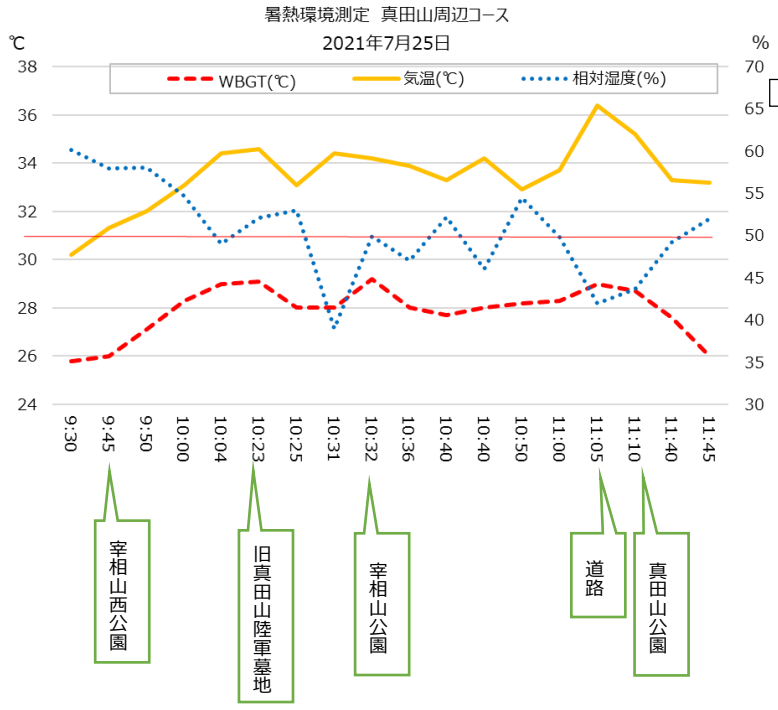
真田山公園　210725　撮影　桝元慶子

暑熱環境測定　真田山周辺コース　2021/7/25　9:30~12:00　　報告　桝元慶子

暑熱指標(WBGT)計：暑熱指標(WBGT)計　測定者：桝元 TANITA 社製 TT-560

測定者：木本 skSATO 社製 SK-180GT

場所	日向○ 日蔭●	時刻	WBGT(℃)	気温(℃)	相 対 湿度(%)	暑熱指標	記録者
JR 玉造駅	●	9:30	23	28.2	57	注意	桝元
JR 玉造駅	●	9:30	25.8	30.2	60.1	警戒	木本
宰相山西公園	○	9:45	26	31.3	58	警戒	桝元
宰相山西公園	○	9:50	27.1	32.0	58.1	警戒	木本
宰相山西公園	●	10:00	28.3	33.1	54.7	厳重警戒	木本
宰相山西公園	○	10:04	29	34.4	49	厳重警戒	桝元
旧真田山陸軍墓地	○	10:23	29.1	34.6	52.1	厳重警戒	木本
旧真田山陸軍墓地		10:25	28	33.1	53	厳重警戒	桝元
宰相山公園上		10:31	28	34.4	39	厳重警戒	桝元
宰相山公園上	●	10:32	29.2	34.2	49.9	厳重警戒	木本
宰相山公園上		10:36	28	33.9	47	厳重警戒	桝元
宰相山公園上	●	10:40	27.7	33.3	52.2	警戒	木本
宰相山公園下		10:40	28	34.2	46	厳重警戒	桝元
宰相山公園下	○	10:50	28.2	32.9	54.5	厳重警戒	木本
宰相山公園下	○	11:00	28.3	33.7	49.8	厳重警戒	木本
道路		11:05	29	36.4	42	厳重警戒	桝元
真田山公園	○	11:10	28.7	35.2	43.7	厳重警戒	木本
真田山公園	●	11:40	27.6	33.3	49.2	警戒	木本
真田山公園		11:45	26	33.2	52	警戒	桝元



調査地点地図

放射温度計：A&D 社製　赤外線放射温度計 AD-5613A　測定者：石川、忍、桝元

測定場所：宰相山公園から真田山公園間の道路

測定時刻：11:05～11:10	放射温度℃（平均値）	
測定対象	日向	日蔭
アスファルト道路	55.7	
アスファルト道路白線面	49.7	
マンホール	55.9	
マンション★：入口床タイル	49.8	
玄関周り植栽葉面	41.8	32.1
玄関周り植栽土壌面	33.7	32.3
マンション横マンホール	54.5	
ガレージ入口グレーチング	45.1	
真田山プール前：歩道タイルブロック白	49.3	37.1
真田山プール横：通路路面煉瓦色	50.4	34.1

放射温度計での測定風景
210725 撮影 桝元慶子

放射温度計での測定風景
210725 撮影 桝元慶子

測定場所：真田山公園内

測定時刻：11:10～11:25	放射温度℃	日射
真田山プール前：歩道タイルブロック白	37.1	日蔭
真田山プール横：通路路面煉瓦色	34.1	日蔭
真田山プール横：植え込み土壌	36.8	日蔭
真田山プール横：植え込み幹	35.2	日蔭
真田山公園：木陰	31.3	日蔭
真田山公園：キンモクセイ下土壌	32.4	日蔭
真田山プール前：石畳	48.1	日向
真田山公園：遊具	44.1	日向
真田山公園：砂道	34.1	日向
真田山公園：クッション歩道緑色	49.1	日向

まとめ

・この日 9:30 から 12:00 の時間帯では、WBGT が危険レベルになることはなかった。
・もっとも暑さが厳しかった場所は、宰相山公園から真田山公園間をアスファルト舗装の南北道路で、他と異なる特徴は、日陰のない場所だった。
・道路以外では、およそ気温は 33℃から 34℃であった。
・放射温度の測定で、同じ事物であっても、日向と日陰では 10℃以上の差があることがあり、人体が周囲の事物から受ける輻射熱を下げるためには、日陰に入ることが重要。
・地面からの輻射熱は、日向でも砂道が低く、土壌中の水分によるものかと思われた。
・放射温度計は全員が携帯し、それぞれが暑熱環境について体感し、あわせて実測を行ったことは有意義であった。